

基本目標2

安全に過ごせる、安心居住都市

政策2-(1) 消防・防災対策の充実

現状と課題

近年、巨大地震や異常気象の影響と考えられる局地的な豪雨などの自然災害の発生が多発しています。また、日本海中部地震をはじめ、本市を含む秋田県では、過去に繰り返し地震による被害が発生しています。日本海東縁部のいわゆる空白域に予想されている地震等を含めて、日本海を震源とする地震には今後十分注意すべきです。こうした災害から市民の生命と財産を守るため、総合的な防災体制や防災機能の強化を図るなど、市民とともに災害に強いまちづくりを進めていく必要があります。

また、東日本大震災以降、大規模災害発生時における自助・共助の重要性が再認識されています。「自分の命は自ら守る」ことが基本であり、さらに「自分たちのまちは自分たちで守る」ことができる住民同士の連帯感や、地域の自主防災力を強化することが重要です。

消防団については、災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助、救出、警戒巡視、避難誘導等、第一線での活動のほか、平常時における防災活動の中心的役割等、地域社会の中で重要な役割を果たしています。そのため、消防団を地域防災の中核団体と位置づけ、地域の実情に応じた育成強化を図る必要があります。防火、防災活動が迅速かつ確に実施できるよう警察・消防本部・自主防災組織等の連携強化に努めます。

目指す方向

防災力の体制強化に努め、安心して暮らせる総合的な防災対策を進めます。



今後5年間で取り組む施策

施策名		主要な取り組み
1	防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○災害対策本部を中心とした危機管理体制の強化など、潟上市全体の災害対応能力の向上を目指します。 ○緊急時の重要な連絡手段である防災行政無線のデジタル化を進めます。 ○急傾斜地崩壊危険箇所の土砂災害（特別）警戒区域の指定の推進と住民等への周知及び河川の増水対策工事に向けて県と連携し実施します。また、「秋田県耐震改修促進計画」及び「潟上市地域防災計画」の改訂を踏まえ、「潟上市耐震改修促進計画」を見直します。
2	地域防災力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練を実施し、市民の防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の組織化の推進と活動を支援します。また、地域防災力強化のため、資機材・設備等の充実、消防団員の適正確保、配置に努めます。 ○避難行動要支援者の避難支援を迅速かつ的確に行うため、関係機関と地域社会が連携し避難行動要支援者の支援体制を確立します。 ○木造住宅耐震診断・改修補助事業の啓発普及を図ります。
3	救助・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○迅速で効率的な救急体制を確立するため、消防署や医療機関など関係機関との連携を強化するとともに、救命救急の初期対応と蘇生率向上のため、救命講習会を開催し、市民意識の向上を図ります。



目指す指標

達成度を測るための指標		単位	目標の方向	現状値 (平成26年度)	将来目標値 (平成32年度)
成果指標	防災対策	%	↗	27.9	38.0
		※平成26年9月の市民アンケートで「満足」、「まあ満足」と回答した率			
活動指標	自主防災組織の組織化	%	↗	36.9	60.4
		※現状値：111自治会の内41自治会が組織化			
	消防団員の充足率	%	↗	95.3	100
		※現状値：消防団員数484人（定員508人）			

参考データ

火災の発生状況

(単位：件)

区分	平成23年				平成24年				平成25年				平成26年			
	天王	昭和	飯田川	計												
建物	3	3	—	6	1	—	2	3	4	—	—	4	3	—	2	5
林野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	1
その他	2	—	—	2	—	—	—	—	2	—	1	3	2	—	—	2
計	5	3	—	8	1	—	2	3	6	—	2	8	5	1	2	8

資料：湖東地区・男鹿地区消防本部

救急出場状況

(単位：件)

区分	平成23年				平成24年				平成25年				平成26年			
	天王	昭和	飯田川	計												
急病	524	181	106	811	603	168	106	877	525	193	107	825	533	185	113	831
交通事故	55	14	10	79	65	15	15	95	43	23	4	70	57	25	10	92
一般負傷	84	36	20	140	99	33	14	146	102	22	22	146	82	24	21	127
その他	104	1	0	105	89	0	0	89	111	3	0	114	90	35	14	139
計	767	232	136	1135	856	216	135	1207	781	241	133	1155	762	269	158	1189

資料：湖東地区・男鹿地区消防本部

政策2-(2) 交通安全・防犯対策の充実

現状と課題

交通事故は、子どもや高齢者が被害に遭うことが多く、そうした方々への対策が重要です。

また、飲酒運転は死亡事故など重大な交通事故を引き起こす可能性があり、撲滅を目指し継続して取り組んでいく必要があります。

地域の安全を守るためには、警察だけでなく、地域住民、行政がそれぞれの役割を担い、連携しながら地域の防犯体制を確立していくことが重要です。特に、住民同士のつながりが強い地域は、犯罪が起こりにくい傾向にあるため、地域ぐるみの防犯対策が求められています。

市内には、623戸（H26調査）の空き家が確認されています。今後も人口減少や高齢化の進行とともに空き家も増加するものと考えられることから、適正な維持管理を図るよう求めていく必要があります。

目指す方向

市民の安全に対する意識の高揚を図りながら、事故や犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

また、空き家の倒壊による事故、犯罪、火災等を未然に防止し、市民と地域の安全・安心の確保と生活環境の保全を図るため、空き家対策に努めます。



今後5年間で取り組む施策

施策名		主要な取り組み
1	交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全に対する意識の高揚を図るため、警察や関係機関、団体と連携し、街頭指導や交通安全教室など啓発活動を実施します。また、飲酒運転を撲滅するため、飲食店への訪問などの広報活動を実施します。 ○子どもの通学時の安全を確保するため、学校や地域と連携し、通学路の点検やスクールガード、子どもを守る会などによる街頭指導を実施します。 ○カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設の整備を計画的に実施するとともに、チャイルドシートの購入費の一部を補助し、乳幼児の致傷事故防止を図ります。
2	防犯体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会などが行う地域の防犯活動に対し、警察や関係機関と連携し支援します。 ○生活道路や通学路に対し防犯灯を計画的に整備するとともに、自治会で設置する防犯灯への支援をします。 ○スクールガードリーダーによる巡回や安全指導を行います。また、「子ども110番の家」の拡充を図るとともに、緊急時の情報伝達手段の整備に努めます。
3	空き家対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会と情報を共有し、空き家の状況を把握するとともに、危険な空き家に対して「空家等対策の推進に関する特別措置法」、「漏上市空き家等適正管理に関する条例」に基づき指導を行います。また、漏上市空き家等解体撤去補助金を活用し、空き家の解体の促進を図ります。

目指す指標

達成度を測るための指標		単位	目標の方向	現状値 (平成26年度)	将来目標値 (平成32年度)
成果指標	交通安全対策	%	↗	33.3	40.0
	※平成26年9月の市民アンケートで「満足」、「まあ満足」と回答した率				
成果指標	防犯対策	%	↗	28.1	37.0
	※平成26年9月の市民アンケートで「満足」、「まあ満足」と回答した率				
活動指標	交通安全教室実施回数	回/年	維持	1	1
	地域パトロール実施回数	回/年	維持	6	6
	空き家等解体撤去補助件数	件/年	↗	0	5



政策2-(3) 消費者対策の充実

現状と課題

消費者を取り巻く環境は、高齢化の進行、高度情報通信社会の進展、消費生活におけるグローバル化の進展など大きく変化してきており、消費者トラブルや消費者被害の内容等も変化してきていることから、適切な助言が受けられる相談窓口の需要が高まっています。

また、消費生活に関する犯罪の手口は、年々巧妙化しています。市民がトラブルに巻き込まれないよう、消費生活に関する正しい知識や情報の普及啓発をより一層行っていく必要があります。

目指す方向

市民が消費トラブルや犯罪に巻き込まれることなく、安全・安心な消費生活を送ることができるよう、消費生活に関する正しい知識や情報の普及啓発を進めます。

今後5年間で取り組む施策

施策名		主要な取り組み
1	相談体制の充実	○相談内容に応じた適切な対応ができるよう、相談体制の充実を図ります。
2	消費者知識の普及啓発	○若年層や高齢者に対し、悪徳商法や詐欺事件の被害を未然に防ぐための啓発活動を実施します。 ○消費生活の知識を普及するとともに、被害にあった場合は関係機関等と連携してサポートします。

目指す指標

達成度を測るための指標		単位	目標の方向	現状値 (平成26年度)	将来目標値 (平成32年度)
指成果	消費者対策の充実度	%	↗	-	33.3
					※平成26年9月の市民アンケートで項目設定なし
指活動	消費生活相談件数	件/年	↘	37	19